

セッション区分		タイトル	登壇者（SYは座長を掲載）	抄録	会場	日程		日整会単位 取得	必須分野	認定番号	他学会単位	オンデマンド 配信	オンデマンド配信で取 得可能な単位
会長講演		Orthopaedic surgeon scientist として	石橋 恭之	S1537	第1会場	10月16日（木）	13:50~14:20	—	—	—	—	有り	—
文化講演		やれる理由こそが着想を生む　—「はやぶさ」，「はやぶさ 2」を完遂させた力—	川口 淳一郎	S1538	第1会場	10月16日（木）	16:10~17:10	N	14-5	024	—	有り	日整会
基調講演		生命の要，キネシンスーパーファミリーモーター分子群と細胞内輸送 —神経機能の制御，その障害と関連疾患まで—	廣川 信隆	S1537	第1会場	10月16日（木）	14:30~16:00	N	14-5	020	—	有り	日整会
特別講演	1	Muse 細胞治療の世界展開戦略　—HLA 適合や免疫抑制剤を必要としないドナーMuse 細胞の点滴治療—	出澤 真理	S1744	第1会場	10月17日（金）	11:20~12:20	N, SS	1, 7	040	—	—	—
	2	生命を模倣する　—幹細胞由来ミニ臓器が拓く次世代医学研究—	阿久津 英憲		第1会場	10月17日（金）	13:40~14:40	N	14-5	049	—	有り	日整会
特別企画		大学病院の生き残り	星長 清隆	S1596	第5会場	10月16日（木）	11:20~12:20	N	14-3	010	—	有り	日整会
海外招待講演	1	Meniscus and early knee osteoarthritis	Martin Englund	S1547	第2会場	10月16日（木）	14:20~15:20	N, S	2, 12	018	—	有り	日整会
	2	Spinal pathoanatomy and clinical epidemiology	Hiroko Matsumoto	S1596	第5会場	10月16日（木）	10:10~11:10	N	3, 7	006	—	有り	日整会
	3	Unleashing the therapeutic potential of cell transplantation for spinal cord repair	Martin Oudega	S1743	第1会場	10月17日（金）	10:10~11:10	N, SS	1, 7	035	—	有り	日整会
	4	Updates in the regenerative medicine for osteoarthritis treatment	Gun-Il Im	S1823	第5会場	10月17日（金）	10:10~11:10	N, S	1, 12	036	—	有り	日整会
	5	Multi-dimensional analysis of the human knee as an organ to discover mechanisms of tissue damage and pain in osteoarthritis	Martin Lotz	S1823	第5会場	10月17日（金）	11:20~12:20	N, S	1, 12	039	—	有り	日整会
教育研修講演	1	肩診療のバージョンアップのための基礎研究	山本 宣幸	S1550	第3会場	10月16日（木）	8:30~9:30	N, Re	1, 9	004	リハビリテーション医学会	有り	日整会、リハビリ
	2	がんゲノム医療と骨・軟部腫瘍	川井 章	S1618	第7会場	10月16日（木）	11:10~12:10	N, Re	1, 5	009	リハビリテーション医学会		
	3	海外留学のすすめ　—COVID-19 パンデミックと世界情勢の変化がもたらした新しい「海外留学」の形—	折田 純久	S1633	第8会場	10月16日（木）	14:20~15:20	N	14-5	021	—	有り	日整会
		海外留学のすゝめ　—基礎研究留学体験談—	小川 寛恭		第8会場	10月16日（木）							
	4	医療安全文化の醸成と整形外科医の役割	内山 勝文	S1634	第8会場	10月16日（木）	15:30~16:30	N	14-5	022	—	有り	日整会
	5	Orthopaedics and traumatology in a changing world	Dietmar Pennig	S1748	第2会場	10月17日（金）	8:30~9:30	N	8, 10	030	リハビリテーション医学会, 手外科学会	有り	日整会、リハビリ
		Microsurgical reconstruction for the treatment of sever damaged upper extremities	Toru Sunagawa		第2会場	10月17日（金）							
	6	萎縮性偽関節の基礎と外科的治療　—骨折治療における生物活性とは？—	渡部 欣忍	S1749	第2会場	10月17日（金）	9:40~10:40	N	1, 2	034	手外科学会	有り	日整会
	7	整形外科医のための実践医療統計　—エビデンスに基づく診療と論文作成のために—	岡 敬之	S1753	第2会場	10月17日（金）	13:40~14:40	N	1	053	—	有り	日整会
	8	間葉系幹細胞を用いた関節内治療の過去・現在・未来	関矢 一郎	S1824	第5会場	10月17日（金）	13:40~14:40	N, S	1, 12	054	—	有り	日整会
	9	5年後も同じ手術でいいですか？　—少しの努力で未来は大きく変えられる—	乾 洋	S1836	第6会場	10月17日（金）	10:10~11:10	—	—	—	リハビリテーション医学会	有り	リハビリ
		人工関節研究の活性化にむけて　—指導者の立場からの提言—	加畑 多文		第6会場	10月17日（金）							
	10	抗菌薬適正使用におけるトピックス　—整形外科領域を中心に—	川村 英樹	S1837	第6会場	10月17日（金）	11:20~12:20	N	14-2	041	—	有り	日整会
	11	Academic surgeon を目指して苦労してきたこと　—脊椎脊髄外科医の理想と本音—	中島 宏彰	S1838~1839	第6会場	10月17日（金）	13:40~14:40	N, SS	1, 7	051	—	有り	日整会
		脊椎脊髄外科研究のすすめ　—優れた研究のコツと要点—	菅野 晴夫		第6会場	10月17日（金）	13:40~14:40						
	12	脊椎診療におけるAI の実装	藤森 孝人	S1839	第6会場	10月17日（金）	14:50~15:50	N, SS	1, 7	056	—	有り	日整会
GJSOT International symposium	1	New technology in joint surgery 1	Dietmar Pennig, Toshifumi Ozaki	S1871~1873	第8会場	10月17日（金）	13:40~14:40	N, Re	2, 5	050	—	有り	日整会
	2	New technology in joint surgery 2	Wolfram Mittelmeier, Koji Hiraoka	S1874~1876	第8会場	10月17日（金）	14:50~15:50	N	1, 11	058	—	有り	日整会
	3	New technology in spine surgery	Michael Rauschmann, Masashi Yamazaki	S1877~1879	第8会場	10月17日（金）	16:00~17:00	N, SS	7	062	—	—	—
共同シンポジウム	1	Advances in patellofemoral joint treatment	James P. Stannard, Yuka Kimura	S1542~1545	第2会場	10月16日（木）	10:10~12:10	N, S	2, 12	007	—	有り	日整会
	2	変形性膝関節症を考える	内尾 祐司, 古賀 英之	S1548~1550	第2会場	10月16日（木）	15:30~17:00	N, S	2, 12	023	—	有り	日整会
	3	バイオマテリアル研究の実用化へ向けて	松田 秀一, 京本 政之	S1601~1603	第6会場	10月16日（木）	10:40~12:10	N	1	008	—	有り	日整会
	4	整形外科基礎研究とリハビリテーション医学のマリアージュ	宮本 健史, 緒方 徹	S1619~1621	第7会場	10月16日（木）	14:20~15:50	N, Re	13	019	—	有り	日整会
	5	脊椎・脊髄再生医療の最先端	渡辺 雅彦, 國府田 正雄	S1741~1743	第1会場	10月17日（金）	8:30~10:00	N, SS	1, 7	029	—	—	—

セッション区分		タイトル	登壇者（SYは座長を掲載）	抄録	会場	日程		日整会単位 取得	必須分野	認定番号	他学会単位	オンデマンド 配信	オンデマンド配信で取 得可能な単位
共同シンポジウム	6	非定型骨折の科学　―疫学・発症メカニズムの解析―	野田 知之, 澤口 毅	S1750~1752	第2会場	10月17日（金）	10:50~12:20	N	2, 4	038	―	有り	日整会
	7	これからの整形外科研究における骨組織形態計測学の実際と意義　―動物実験から臨床試験まで―	酒井 昭典, 高畑 雅彦	S1754~1755	第2会場	10月17日（金）	14:50~16:20	N	1, 4	059	―	有り	日整会
	8	小児整形外科股関節領域におけるAI 利用と最新研究	稲葉 裕, 瀬川 裕子	S1840~1842	第6会場	10月17日（金）	16:00~17:30	N	3, 11	061	―	有り	日整会
	9	骨・軟部腫瘍の遺伝子検査による診療の発展	米本 司, 小林 寛	S1846~1848	第7会場	10月17日（金）	10:40~12:10	N	5	037	―	有り	日整会
	10	有限要素解析法で語る外傷治療	渡部 欣忍, 塩田 直史	S1850~1852	第7会場	10月17日（金）	13:40~15:10	N	1, 2	052	―	有り	日整会
	11	腱板修復促進に関する基礎的研究	西中 直也, 谷口 昇	S1853~1855	第7会場	10月17日（金）	15:30~17:00	N, S	1, 9	060	―	有り	日整会
シンポジウム	1	ACL 再建術後成績向上に向けた基礎研究の最前線	中田 研, 松下 雄彦	S1539~1541	第2会場	10月16日（木）	8:30~10:00	N, S	1, 12	001	―	有り	日整会
	2	脊柱側弯症の病態解明から早期発見への道しるべ	高橋 淳, 出村 諭	S1593~1595	第5会場	10月16日（木）	8:30~10:00	N, SS	1, 7	002	―	有り	日整会
	3	Frontiers in prosthetic design and biomaterials research	尾崎 誠, おおえ 賢一	S1598~1600	第6会場	10月16日（木）	9:00~10:30	N, R	1, 11	005	―	―	―
	4	脊柱靱帯骨化症研究の最前線	川口 善治, 吉井 俊貴	S1607~1609	第6会場	10月16日（木）	16:00~17:30	N, SS	1, 7	025	―	有り	日整会
	5	手外科領域における末梢神経の再生医療	市原 理司, 田中 啓之	S1622~1624	第8会場	10月16日（木）	8:30~10:00	N, SS	8, 10	003	―	有り	日整会
	6	ここまでわかる Omics解析　―現状と課題―	妻木 範行, 石川 正和	S1745~1747	第1会場	10月17日（金）	14:50~16:20	N	1	055	―	―	―
	7	骨関節組織再生トランスレーショナルリサーチの最前線	中島 康晴, 高橋 謙治	S1820~1822	第5会場	10月17日（金）	8:30~10:00	N, S	11, 12	031	―	有り	日整会
	8	整形外科疾患におけるAIの活用　―診断・治療の新時代―	茂呂 徹, 藤田 浩二	S1825~1828	第5会場	10月17日（金）	14:50~16:20	N	1	057	―	有り	日整会
	9	関節手術におけるロボット・ナビゲーション技術の最前線	岡崎 賢, 高尾 正樹	S1833~1835	第6会場	10月17日（金）	8:30~10:00	N, R	11, 12	032	―	有り	日整会
	10	骨・軟部腫瘍における画像技術の進歩と臨床応用	川島 寛之, 松峯 昭彦	S1843~1845	第7会場	10月17日（金）	9:00~10:30	N	1, 5	033	―	有り	日整会
ランチョンセミナー	1	基礎研究から見てきた大腿四頭筋腱を用いたACL再建術の適応と課題	中瀬 順介	S1546	2	10月16日（木）	12:30~13:30	N, S	2, 12	011	―	―	―
		ACL reconstruction using QT graft: Clinical experience and literature review	John Xerogeanes										
	2	膝関節新規治療開発からヘルスプロモーション「活き活き健康」へ：外科治療・再生医療・プログラム医療機器とデジタルツイン活用	中田 研	S1561	3	10月16日（木）	12:30~13:30	N, S	1, 12	012	―	―	―
	3	感染性脊椎炎診断の新戦略：変化する起炎菌	谷島 伸二	S1584	4	10月16日（木）	12:30~13:30	N, SS	7	013	―	―	―
	4	今こそ見直す医療安全　―医療従事者が実践すべき被曝低減の新潮流―	山下 一太	S1597	5	10月16日（木）	12:30~13:30	―	―	―	―	―	―
	5	疼痛機序から考える変形性膝関節症の治療戦略	阿漕 孝治	S1603	6	10月16日（木）	12:30~13:30	N, Re	1, 12	015	―	―	―
	6	肩関節周囲炎の治療戦略と Scaffold 技術による腱板修復の可能性　―基礎から臨床へ―	八田 卓久	S1618	7	10月16日（木）	12:30~13:30	N, Re	1, 9	016	―	―	―
	7	Pre-clinical, clinical & registry data of a zirconium nitride multilayer ceramic coating on an advanced mobile bearing posterior stabilised design for total knee arthroplasty	Wolfram Mittelmeier	S1632	8	10月16日（木）	12:30~13:30	N	12	017	―	―	―
	8	腰部脊柱管狭窄症の“痛み”へのアプローチ　―MiroTAS 試験と事後解析が示すミログパリンの臨床的位置づけ―	二階堂 琢也	S1752	2	10月17日（金）	12:30~13:30	N, SS	4, 7	042	―	―	―
	9	本来の膝関節の動きを目指して　―ビロットパターンが TKA デザインと臨床成績に及ぼす影響―	上村 雅之	S1774	3	10月17日（金）	12:30~13:30	N, Re	1, 12	043	―	―	―
	10	半月板損傷の診療　―基礎医学研究から臨床まで―	古松 毅之	S1804	4	10月17日（金）	12:30~13:30	N, S	1, 12	044	―	―	―
	11	CT-based Robotic System による下肢人工関節置換術の意義と可能性	水島 正樹	S1824	5	10月17日（金）	12:30~13:30	N	11, 12	045	―	―	―
	12	ソフトマテリアル研究に基づく新規軟骨修復・再生治療法の開発	岩崎 倫政	S1838	6	10月17日（金）	12:30~13:30	N, S	1	046	―	―	―
	13	ウェアラブルデバイスによる人工股関節置換術後の機能回復モニタリング：新たな可能性を拓く	瀧井 敏	S1849	7	10月17日（金）	12:30~13:30	N, Re	11, 13	047	―	―	―
	14	生体軟骨の潤滑機構に着想を得た生体親和性PMPC 処理人工股関節の実用化と15 年成績	茂呂 徹	S1870	8	10月17日（金）	12:30~13:30	N	1, 11	048	―	―	―
アフタヌーンセミナー	1	最近の話題とともに考えるPTH1 受容体作動薬による骨粗鬆症治療	宮腰 尚久	S1569	3	10月16日（木）	16:30~17:30	N, SS	1, 4	026	骨粗鬆症学会	―	―
	2	睡眠・覚醒状態遷移を司る神経ダイナミクスとオレキシンの機能的役割	櫻井 武	S1592	4	10月16日（木）	16:30~17:30	N	14-5	027	―	―	―
	3	The evolution of the shoulder prosthesis from aTSA to RSA	Alessandro Castagna	S1621	7	10月16日（木）	16:30~17:30	N, Re	9, 13	028	―	―	―